

会議概要録

開催概要

名 称：第7回 東区自治協議会 第1部会

日 時：平成22年1月15日(金) 午前10時00分～午前11時50分

場 所：東区役所分館 会議室

出席者：委員

木島委員，岩橋委員，鈴木委員，田村委員，田中委員，村山委員，山田委員，海津委員，田畑委員，橋本委員

：事務局

地域課長，総務課安心安全係長，地域課企画係職員

審議内容

今後，コミ協代表の皆さんが参加する防災検討会議で検討・策定を予定している「避難所運営訓練マニュアル」の素案について，第1部会からの参考意見として発言がありました。

素案には避難所の自主運営組織の組織図が掲載されているが，図の中に班の構成内訳など，より詳細な情報を加えてはどうか。

今回のマニュアル素案は「避難所での活動」に焦点を当てたものだが，地震発生から避難所へ到達するまでの行動も重要と思う。そのあたりをどう考えているのか。今後，災害時の活動マニュアルを整備していきたいと考えている。その過程で，「避難所へ到達するまで」行動マニュアルについても検討していくことになると思う。

(今回のマニュアル素案のテーマである「避難所での活動」から離れるが，)

避難所へたどり着くまでの経路には私道も多い。避難経路にあたる私道整備を行政から支援できないものか。

災害時の迅速な救助のためには，各自治町内会でできるだけ各家庭の情報を把握しておく必要があるという点を認識しておいてほしい。

マニュアル素案に出てくる班の名称を，市が作成した防災マニュアルと一致させておく必要がある。(マニュアルごとに名称が異なると現場で混乱を招いてしまう)

(以下，中越沖地震で避難所の現場を体験された方や自衛隊の皆さんなどからのお話し，アドバイスをまとめたものを紹介)

- ・ 自主防災組織の結成，運営は自治会単位が望ましい。
- ・ 日頃から避難場所を家族，知人らと共有しておくこと。
- ・ 避難所での大きな問題となるのがトイレ。仮設トイレについては各自治会の備蓄品として準備しておくべき。最近はダンボール製の仮設トイレも開発されている。
- ・ 避難所では自治会単位でまとまるようレイアウトを考えておく。

- ・ 避難所で指揮に当たる役員の自宅は、出遅れないために完璧な準備をしておく必要がある(自宅初期消化用の消火器、タンス等の転倒防止器具、ガラス飛散時にはく靴など)。
- ・ 各戸の避難状況、損壊状況等を識別するステッカー等の準備。
- ・ 雨漏り防止用のブルーシートは必需品。各自治会で備蓄しておくべき。
- ・ 仮設トイレは自治会で準備し、清掃も自ら行なうこと。
- ・ 酒酔い者の入場禁止。

資料「東区自治協議会のさらなる発展に向けて」に基づき、今後、東区の自治協委員へのアンケートを通じて、自治協の課題等を把握し、第1部会で検討した上で意見発信してはどうかという提案がありました。

次回部会でアンケート案を検討し、その後の自治協議会(本会議)に提案することになりました。

アンケート実施後は、結果を第1部会で分析・検討した後、本会議へ報告し、東区自治協議会からの意見として、市に提言してはどうか。

次回について

次回の部会では「避難所生活の計画案について」と「自治協議会委員へのアンケートの内容」について意見交換することになりました。

次回の開催について

- ・ 日時：平成22年2月15日(月) 午前10時～
- ・ 場所：東区役所分館 会議室